

Topics

(公財) 岩手県南技術研究センター創立30周年記念行事について

公益財団法人岩手県南技術研究センター 創立30周年記念講演会

一関市農商工連携セミナー / 第249回産学官イブニング研究交流会

センターは創立30周年を迎えます。一関市、平泉町及び地域企業等のご支援・ご協力により平成7年に開設し、以来地域産業の技術開発等を支援し、地域産業の技術力の向上を図り、もって産業の発展と活力ある地域社会の創出に資することを目的に、重点3事業「研究開発事業」「ものづくり人材育成事業」「地域連携事業」を展開してきました。ご支援・ご協力を頂いてきた地域企業、関係機関および関係者各位に深く感謝申し上げます。

創立30周年を記念して、岩手県副知事の佐々木淳様にご講演いただくこととなりました。皆さまのご参加をお待ちしております。

【記念講演会】 入場無料

演題：岩手県と一関地域の 産業振興とこれからの姿

◇講師：岩手県副知事

佐々木 淳 氏

◇日時：令和6年7月17日(水)

★開会：15時40分～

★講演：15時45分～16時45分

☆事業紹介：16時45分～17時

Next IWATE

代表 上野 裕太郎 氏

◇会場：ベリーノホテル一関



【交流会】 17:10～19:10 会費6,000円

★一ノ関駅まで帰りのバスが出ます。ご利用される場合は、お申込みください。

主催：公益財団法人岩手県南技術研究センター、一関市

公益財団法人岩手県南技術研究センターは、平成7年開設以来、創立30周年を迎えます。これを祝しまして、岩手県副知事 佐々木淳様をお迎えして、記念講演会を開催致します。

佐々木副知事様は、弊所の開所にあたりご尽力を頂いた方で、弊所とは切っても切れないご縁があります。ご講演では、今後の岩手県、一関地域の産業振興等に関するお話を頂くことになっております。皆さま、記念講演会、交流会へのたくさんのご参加をお待ちしております。

◆◆◆平成7年に開設以来、皆さまにご支援ご協力を賜りながら、事業を継続して参りました。現在実施しております事業等の実績について、ご報告します◆◆◆

【令和5年度末現在の実績】

*賛助会員数

H18 50社 ⇒ R5 89社1個人

*試験、分析件数

H18 175件 ⇒ R5 1,313件

*地域企業情報ガイダンス

令和5年10月第15回を実施。

*企業情報交換会

令和6年2月第17回を実施。

*キッズサイエンス

令和5年8月5日第19回を実施。

*QC検定一関会場

令和5年9月3日第12回を実施。

*ものづくり人材育成事業

・令和5年度一関市ものづくり人事育成事業：受講者延べ 71名

・令和5年度一関市ものづくり産業振興事業：受講者延べ 171名

以上



☆新職員の紹介☆

研究開発部技師 安彦 夏希 です。

令和6年6月から技師として働いています。

どうぞよろしくお祈いします。

毎月第3水曜日は・・・

イブニングの日

※詳細はホームページ等でご確認ください。

『第249回産学官イブニング研究交流会 / (併催) 創立30周年記念講演、一関市農商工連携セミナー』へのご案内』

◆日時：7月17日(水) 15時40分～19時10分

会場：ベリーノホテル一関

※創立30周年記念式典 15時00分～15時30分



令和6年度キッズサイエンスを開催します!!

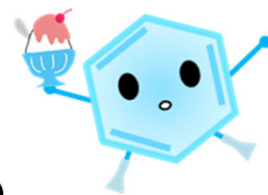
次世代を担う子供たちに、創造力や自然探究心、科学する心を養ってもらうために、令和6年度キッズサイエンスを開催します。

今年のテーマは、

～実験で楽しむ、結晶のふしぎ～

一瞬での結晶析出や、結晶のとける様子を観察し、結晶(固体)の性質について考えてみよう。

(内容) ・演示 … ①時計反応 ②化学発光実験(ルミノール反応)
・実験体験 … ①結晶を作る ②結晶を溶かす ③炎色反応



- ◆日 時：令和6年8月3日(土) 10:00～15:00
1回目 10:00～11:30(9:30受付開始)
2回目 13:30～15:00(13:00受付開始)
- ◆会場：公益財団法人岩手県南技術研究センター(一関市萩荘字高梨南方114-1)
- ◆対象：一関市内及び平泉町内の小学生とその保護者
- ◆参加料：無料

(※当日は、写真撮影を行います。新聞等取材が入る予定です。ご了承下さい。)

- ◆持ち物：飲み物、上履き
- ◆定員：各回15組(先着順) ※定員に達し次第締め切ります。
- ◆申込期限：7月18日(木)9時～25日(木)17時
- ◆申込方法：Googleフォームで受け付け。

(※申込受付完了後、メールにて連絡します。)



<https://x.gd/itwH4>

化学(ケミストリー)の視点 ★連載版No.12

※今回の担当は、当センター研究開発部技師 志田 です。

～蛍光について～

前回、物質の性質を判断できる色素やその活用例を紹介しましたが、今回は身近な蛍光について追加していきたいと思います。

蛍光灯は、内部に蛍光物質が塗布されたガラス管で、ガラス管の内部には水銀蒸気がとじこめられています。管の両端にある放電電極(フィラメント)に電流が流れ加熱されると、電極から熱電子が放出され、内部の水銀蒸気に衝突することで紫外線を発生させます。内部の蛍光物質がこの紫外線を吸収し、可視光線を発します。

蛍光ペンなど蛍光色素も同様に光に反応する化合物で、特定の波長の光エネルギー(X線や紫外線、可視光線等)を吸収し、そのエネルギーをより長い波長の光として発光します。

また、色素に限らず、物質に波長の短いX線を照射すると、その構成元素の内殻電子が原子外に弾き出され、そのようにしてできた空の軌道に外側の殻から電子が遷移して、余分なエネルギーをX線として放出します。このX線が特性X線と呼ばれ、分析に用いられています。

